

HETEROSIDES

(ヘテロサイド)

マダガスカル産の貴重な成分により頭皮の炎症を抑え、フケを改善、保湿効果を導く

【特長】 マダガスカル産の天然の希少なパウダータイプのエキス
高いトレサビリティー&国連フェアトレード成分
多角的に炎症を制御し、異常角化を正常化、フケの発生を抑える

【コンセプト】

ヘテロサイド(Heterosides of C. A.)は、日本ではツボクサと呼ばれるセリ科植物の葉より得られた精製エキスです。ツボクサは、セイヨウではセンテラアジアチカ(一般名: Centella Asiatica / マダガスカル名: Talepetraka)として知られ、マダガスカルなど亜熱帯地域に広く生息する野生の多年草です。

野生のトラが傷ついた時にツボクサに体をこすり付けて治したという伝説もあり、別名タイガースハーブとも呼ばれています。また、動物にとどまらず、ツボクサには優れた創傷治癒効果があり、古来より民間療法の薬として珍重されてきました。



血管不全(むくみ等)、消毒、解毒、皮膚病など、多くの症状に応用されています。歴史的には、その後、マダガスカルを経て、フランスの薬局に伝わった西洋漢方の一つでもあります。



ヘテロサイドは、手付かずの自然で育ったマダガスカルで天然自生するツボクサの葉を、一枚一枚丁寧に「手摘み」で集め、現地で厳しい品質検査を受け、合格したもののみを南フランスのバイエルのGMP工場にて高純度精製したパウダー状のエキスであり、高いトレサビリティーを誇ります。現地では医薬品用に用いられているものと同等の品質となっています。また、バイエルはマダガスカル島との30年以上の友好的な関係のもと、学校

や病院の寄贈による継続的な福祉活動を行なっています。そのため、国連のフェアトレード組織UEBTにて、営利組織として初めて認められた功績を持ちます。

センテラアジアチカ(ツボクサ)に含まれる4つの主要成分の内、特に皮膚ダメージ後の初期反応である「炎症」と炎症から誘導される「表皮角化不全」に強い作用をもつ2成分が、アジアチコシド(表示名称:アシアチコシド)、マデカツソシド(表示名称:マデカツソシド)といい、「配糖体成分(ヘテロサイド)」に分類される有効成分です。「**炎症**」「**表皮代謝調節**」の正常化に特化しており、**炎症により異常に角化が促進された皮膚を正常化し、通常の状態へ近づける効果**があることがわかっております。

その点で、ツボクサの精製成分である**ヘテロサイド**は、紫外線などのストレスや加齢により乱れた皮膚の代謝を分子レベルで調整し、正常化することで、特に表皮・角層を健全な状態へ戻す効果が期待できます。

【効果・効能】

ヘテロサイドの2~6週間の連続使用により、炎症を原因とした角化不全によるフケ症を改善する効果が見込めます。

【異常角化によるフケ症】



【**ヘテロサイド**による改善効果】



過剰角化を原因とする頭皮のフケ症を改善

【商品情報】

商品名: Heterosides of C.A.(ヘテロサイド)

表示名称: ツボクサ葉エキス

医薬部外品表示名称: お問い合わせください

製造元: Bayer Sante Familiale(フランス)